

さくら ほっと NEWS

特集

▶ 感染制御室のご紹介

P. 2・3

お知らせ

▶ 医学物理士のご紹介

▶ かかりつけ医相談室をご利用ください

～かかりつけ医をもちましょう～

▶ 病院情報システムを更新します


P. 4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

 名古屋市立大学病院

vol.26
2013年11月

患者さんの権利等

患者さんの権利

良質の医療を受ける権利
情報を知る権利
選択の自由の権利
自己決定の権利
機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。
患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明を受けることができます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。
患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報には厳正に保護されます。

患者さんの責務

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 医療費の自己負担分は必ずお支払いください。

お願い

- 大学病院として、医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

感染制御室のご紹介

当院には、感染制御室という部門があります。感染制御室は、主に院内の感染症診療支援や感染予防に関する役割を担っています。主な活動は、感染対策に関する教育・啓発や、院内での感染症の発生や病原微生物の検出状況を常に把握し感染症が発生しないよう対策を検討すること、感染対策が正しくされているかを確認する院内の巡視(右写真)等です。また、常に新しい情報を取り入れ、効果のある感染対策を実施できるよう整備しています。感染制御室は、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の多職種が、各々の専門性を活かし、院内すべての部門と連携して活動しています。医師・薬剤師・臨床検査技師は主に感染症診療の支援や、検出された微生物から検討し、感染症治療に用いる抗菌薬を適正に使用するために、主治医と協議を行っています。看護師は主に、日頃の感染予防のための手洗いの状況や、環境整備を確認したり、感染症が発生した場合の病室の管理や患者さんの療養生活の支援を行っています。



感染症は、「人にうつる」という特徴があるため、感染症を発症している患者さんが適切な治療を受けて早く治ることはもちろん、周りの患者さんや面会の方、職員にうつらないように対応することが重要です。感染症の原因である病原菌やウイルスは、それらが付着した手で自分の口や鼻、目などに触れることや、咳やくしゃみによるしぶきを吸い込むことでうつります。自分がうつらない、また周囲の人へうつさないために、手洗いとうがいの励行、咳エチケットがとても大切です。

手洗いで、洗い残しが多いのは、指と指の間、爪、親指の付け根などと言われています。外出から帰った時、食事の前、排泄の後等、洗い残しの多い部分を少し意識し、以下の手洗い方法を参考に丁寧な手洗いを行いましょう。

効果的な手洗いの方法



① 石けん(液体せっけん)をよく泡立て、手の平を洗います。



② 手の甲を洗います。



③ 指と指の間を擦り合わせて洗います。



⑥ 最後に手首を洗います。



⑤ 親指を握るようにして親指の付け根を洗います。



④ 指先と爪を洗います。

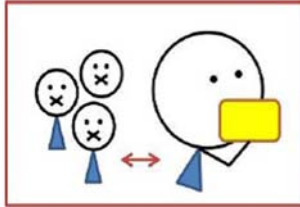
流水でよく石けんを洗い流し、清潔なタオル等で水分を拭き取ります。

咳エチケットのご協力をお願いします

・鼻と口をティッシュや腕で覆う
・周りの人から顔をそむけて1m以上
離れる

・使ったティッシュはふた付きゴミ箱へ

・正しい方法でマスクを着用する



咳やくしゃみをした後は
手を洗いましょう



名古屋市立大学病院感染対策委員会 看護部感染対策リンクナース会

【院内に掲示している「咳エチケット」ポスター】

咳エチケット

- 咳やくしゃみをする時は他の人に向けて発しないようにしましょう。
- 咳が出るときはマスクをしましょう。
- 咳やくしゃみをする時は手やティッシュペーパーで覆いましょう。
- 使用したティッシュペーパーはごみ箱に捨て、すぐに手を洗いましょう。

毎年秋から春先にかけて、インフルエンザが流行します。インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

インフルエンザの予防にも手洗いとうがい、咳エチケットが重要です。また、バランスのとれた食事を摂ることや十分な睡眠も体の抵抗力を高めます。流行前のインフルエンザワクチンは、感染後に発病する可能性を低減させる効果と、インフルエンザにかかった場合の重症化防止に有効と報告されています。接種される場合は、持病やアレルギー、接種当日の体調等についてかかりつけ医に伝え、よく相談して接種するようにしましょう。

これから寒くなりますが、十分な栄養と睡眠、手洗い・うがいで感染症から身を守りましょう。

医学物理士のご紹介

中央放射線部ではX線撮影を始めとし、CT、MRI、核医学検査、放射線治療など様々な診断や治療を行っています。このような医療が患者さんに正しく提供されるかを医学物理の観点から考えるのが医学物理士の役割です。現在、全国で約670名が認定されています。

当院では診療放射線技師の中に医学物理士の資格を持っている者が3名おり、特にがん治療の三本柱の一つである放射線治療の分野において貢献しています。主な仕事は、放射線治療医の立てた治療計画通りに照射されているかを検証し、安全に放射線治療が行われていることを担保することです。また放射線治療装置が日々正常に稼働するように装置の品質管理を行っています。

昨年より喜谷記念がん治療センター（東棟）が開院し、放射線治療装置トモセラピーが導入されました。トモセラピーでは、小さながん病巣や複雑な病巣に対してピンポイントに照射可能な、強度変調放射線治療(IMRT)を提供することができます。私たちはこの装置においても精度管理を行い、医師や看護師など他の職員とも連携を取り、患者さんに安心して適切な放射線治療を受けていただけるようにチームとして取り組んでおります。



中央放射線部 土屋貴裕

かかりつけ医相談室をご利用ください ～かかりつけ医をもちましょう～

当院は、一般の医療機関では実施することが難しい手術や最先端の高度な医療を担う特定機能病院の役割があります。当院での医療が必要な患者さんにひとりでも多く受診していただくため、当院での治療を終えられた患者さんには地域の医療機関での受診をお願いしております。

そのため、平成25年8月に「かかりつけ医相談室」を設置し、当院で診断が確定し、病状が安定した患者さんの中で、かかりつけ医をもたない方に、その方の状態に合ったかかりつけ医をご紹介します。

どうぞお気軽にご利用ください。



かかりつけ医相談室

場 所：病棟・中央診療棟 1階
 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～16:00
 （祝祭日・年末年始を除く）

こんな相談
 ができます

「当院での治療が終了し、地域の医療機関で治療を継続することになったが、どこへいけばよいかわからない」
 「自宅近くの医療機関に通院したいが、どこへ行ったらよいかわからない」
 など

医療・福祉地域連携室

病院情報システムを更新します

平成25年12月末に、電子カルテを始めとする病院情報システムの更新を行います。

つきましては、患者さんの安全に配慮して、12月28日(土)午後5時から12月30日(月)午後5時まで、時間外診療及び救急診療を一時制限させていただきますが、ご理解・ご協力をお願いします。

名古屋市大病院

ホームページの検索方法の案内「名古屋市大病院」で検索

検索

クリック

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

名古屋市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp まで！